



特集 4~7面

平成23年度当初予算を公表します

震災に負けない!!

東日本大震災の影響により桜まつりをはじめ、4月の多くのイベントが中止となりましたが、町内の桜は、例年通り美しく力強く咲き誇り、私たちに元気を与えてくれました。

がんばろう東北!!

がんばろう福島!!



関するお知らせ

震度4以上は5回

これまでの石川町の地震発生状況

石川町において震度3以上の地震が発生した回数
(4月19日までで発生日のみ掲載)

	震度1以上の地震 が発生した回数	最大震度	震度3以上 発生回数
		震度表示	
3月11日 (金)	161	5強	13
3月12日 (土)	67	3	1
3月14日 (月)	16	3	1
3月19日 (土)	6	3	1
3月21日 (月)	5	3	1
3月22日 (火)	11	3	2
3月23日 (水)	13	3	4
4月6日 (水)	5	3	1
4月7日 (木)	5	4	2
4月11日 (月)	64	5弱	8
4月12日 (火)	39	5弱	3
4月14日 (木)	8	3	1
4月16日 (土)	4	3	1

【参考】

- ・震度1～2以上の地震の回数・・・499回
- ・震度3～4以上の地震の回数・・・36回
- ・震度5以上の地震の回数・・・3回

3月11日以降に石川町で起きた震度1以上の地震の発生回数は535回(4月19日まで)でした。そのうち震度3以上の地震は39回ありました。

これまでの最大震度は、3月11日の「震度5強」で、この時の観測震度は「5・1」でした。

石川町は地震に強いといわれており、今回の余震の状況でも近隣町村より1段階低い震度を観測することになります。

しかし、内陸を震源とした余震も頻発していることから、今後も余震には注意してください。



調査地点 (地上から1m)	測定 ($\mu\text{Sv/h}$) (調査日: 4月21日)
石川小学校	0.20
沢田小学校	0.20
野木沢小学校	0.20
母畑小学校	0.18
中谷第一小学校	0.16
中谷第二小学校	0.25
山形小学校	0.30
南山形小学校	0.25
石川中学校	0.22
沢田中学校	0.22
石川義塾中学校	0.12
第一保育所	0.15
第二保育所	0.16
野木沢保育所	0.19
沢田児童館	0.22
石川文化幼稚園	0.15

同省は、ICRP (国際放射線防護委員会) の「非常事態が収束した後の一般公衆における参考レベル」の1〜20ミリシーベルト/年を暫定的な目安として設定し、16時間の屋内活動(木造)と8時間の屋外活動の生活パターンを想定して、20ミリシーベルト/年に達する空間線量を屋外活動では3・8マイクロシーベ

ル/時間としました。この基準を超えた学校は、1日あたりの屋外活動が1時間以内に制限されたり、幼稚園や保育所では砂場の利用を控えたりなど、校庭などでの屋外活動が制限されます。

石川町内の小中学校、保育所、幼稚園の放射線の空間線量は、0・12〜0・30マイクロシーベルト/時間であり、基準値の約20分の1程度の値で推移しており、屋外活動の制限を受けるレベルを大幅に下回っています。

**3・8マイクロシーベルト/時間以上は屋外活動を制限
町内の小中学校は基準値を
大幅に下回っています!!**

東日本大震災に

地震により地盤が弱っている可能性があります

土砂災害に注意してください!!

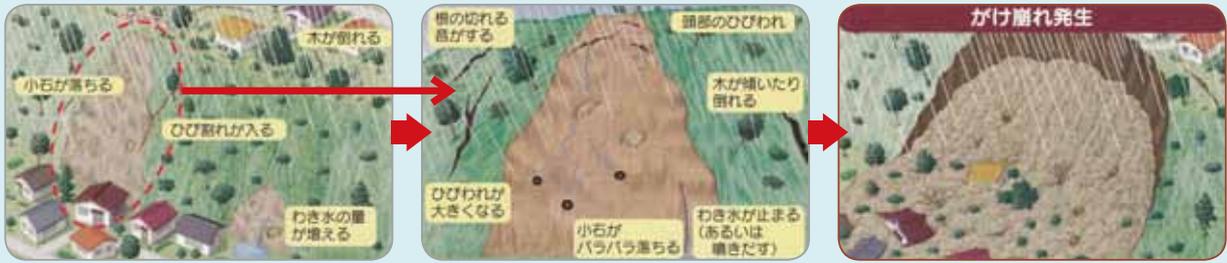
今回の震災では、巨大地震とその余震の激しい揺れにより福島県内でも土砂災害が起きました。

石川町では3月11日には震度5強、4月11日、12日には震度5弱を観測し、度重なる大きな揺れで、土砂災害の危険が高まっている恐れがあります。

また、梅雨時期には降雨量が増加し、地震により弱くなった地盤では土砂崩れが起きる恐れがありますので、次の事例のように土砂崩れの前兆には十分注意して避難の準備をしましょう。

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れることで死者の割合も高くなって大きな災害となります。



土石流

山腹、河底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へ押し流されるものをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部がゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また、一旦動き出すとこれを完全に停止させることは非常に困難です。



平成23年度

予算公表

平成23年度の石川町歳入・歳出予算が、3月定例会において可決されました。今月号では、町民の皆さんに納めていただく税金や国・県からの補助金が私たちの暮らしをより良くするために、どのように使われていくのかをお知らせします。

第5次総合計画

みんなが主役

協働と循環のまち

ひとが輝き、
ときを慈しみ、
ものを愛でる
まちづくりを
めざして



平成23年度当初予算は、これまで実施してきた歳出削減、歳入確保の取り組みを推進するとともに、第5次総合計画に掲げた本町の将来像「みんなが主役 協働と循環のまち」の実現に向け、6つの基本目標に基づき、重点的・優先的に取り組むべき施策を着実に推進するため、選択と集中によるメリハリのある予算を編成しました。

みんなの
暮らしに
生かします

58億4,321万円

特別会計を合わせると93億7,413万円

歳入

町債とは？

町の借金のことです。大きな事業を行うために国や金融機関から借りるお金です。



町債
3億7,170万円
6.4%

地方譲与税ほか
3億5,980万円
6.2%

町税とは？

町民の皆様から納めていただく町民税や固定資産税です。



町税
15億5,360万円
26.6%

県支出金
3億6,370万円
6.2%

国支出金
3億9,285万円
6.7%

依存財源
66.9%

自主財源
33.1%

分担金及び負担金
2億476万円
3.5%

繰入金
440万円
0.1%

諸収入ほか
1億7,240万円
2.9%



地方交付税とは？

所得税など国が徴収した税金の中から町の財政状況に応じて交付されるお金です。



地方交付税
24億2,000万円
41.4%

繰入金とは？

各種基金などから一般会計へ繰り入れるお金です。

歳入

町税については、個人町民税などで減収が見込まれ、町税全体では対前年比マイナス1・7%、2,760万円減の15億5,360万円となりました。

また、地方交付税では、増額を確保するための地方財政措置に伴い、本年度を上回る予算額を計上できる見通しとなり、特別交付税とあわせ対前年比2・6%増の24億2,000万円となりました。

しかしながら、財源不足を補てんするための臨時財政対策債は、対前年比で大幅に縮減されるため、33・6%減の3億円となり、臨時財政対策債を含めた実質的な交付税総額では、対前年比3・2%減の27億2,000万円となっております。

歳出

産業

雇用創出に向けて、企業誘致を推進するほか、緊急雇用対策事業の取組みにより求職者等の臨時的・一時的な就業機会の確保を図ります。

また、既存企業の経営基盤を強化するため、中小企業経営合理化資金の金融機関への預託金及び利用者が負担する制度保証料率の全額助成を継続するほか、企業が展示会等へ出展する経費の一部を助成します。

さらに、農業の低コストや省力化対策、担い手の育成を図りながら地域の環境整備や共同の取り組みを支援するとともに、6次化推進事業や直売所施設整備に向けた基本計画の策定、推進体制の確立を進めていきます。

このほか、賑わいの創出と誘客を図るため、地域資源を活用した事業を推進するほか、農・商・工が一体となった産業交流祭を開催します。

4月に認可保育所として開園した民間保育園に対し、保育園運営費の支援を行います。

また、中学校修了までの医療費の無料化及び妊産婦一般健康診査費用の無料化や、子育てサロン、児童クラブの運営を行うなど、少子化対策事業を推進します。

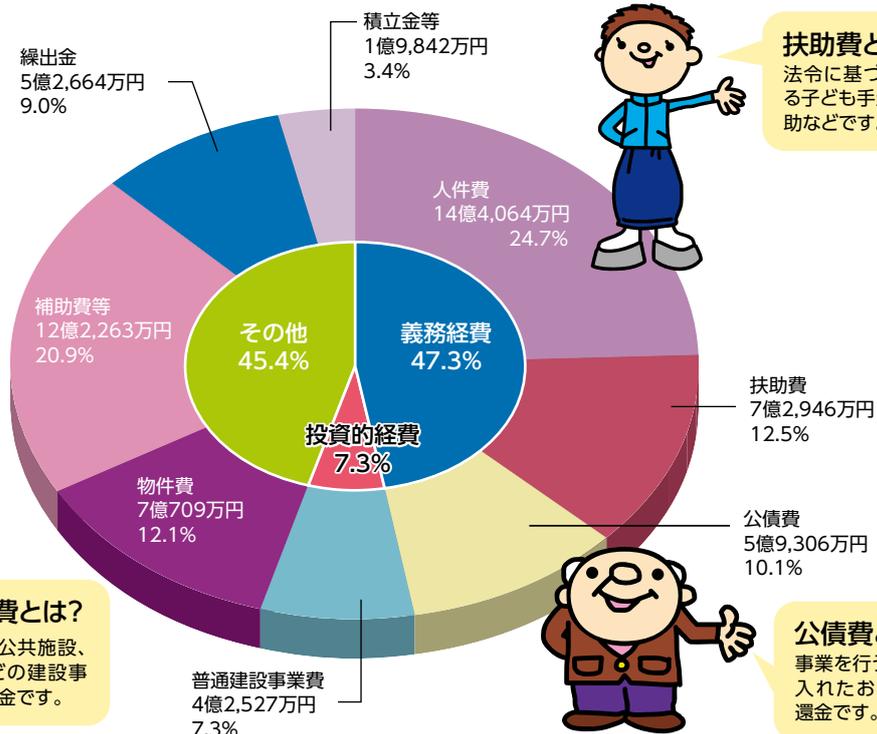
さらに、疾病の重篤性等に鑑み、子宮頸がん等ワクチン接種促進事業を行うほか、健康増進事業、予防事業など町民の健康づくりを支援します。

教育・文化・スポーツ

いしかわ交流・連携事業等の取組みにより、未来を担う子ども達の交流・連携を一層深めるとともに、鉱物学習や文化財出前講座により郷土教育を進めていきます。

また、学校施設の安全性と良好な教育環境を確保するために、小中学

歳出



補助費等とは?

石川地方生活環境組合負担金、広域消防組合負担金、各種補助金などです。



扶助費とは?

法令に基づき支出される子ども手当、医療費扶助などです。



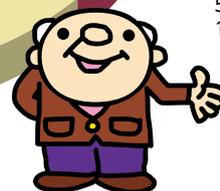
建設事業費とは?

道路の整備、公共施設、災害復旧などの建設事業に要するお金です。



公債費とは?

事業を行うために借り入れたお金の元利償還金です。



校舎の耐震診断を実施するほか、中学校校舎耐震補強及び大規模改造の適正な施工監理に努めます。

さらに、石川・いわきフィル音楽教室を開催し、演奏会のほか、中学校合奏部との合同演奏会等を行い、中学生をはじめ町民の皆さんが芸術文化に親しみ・触れ合う機会を提供します。

生活・環境

平成25年までの3カ年計画で橋梁点検及び修繕計画を策定し、橋梁の長寿命化を図るほか、地域間を結ぶ身近な生活道路の整備を積極的に進め、快適で安全な道路の整備を行うとともに、急坂舗装等、住民の主体的な道路環境整備の取り組みを支援します。

また、新エネルギー導入促進のための太陽光発電システム設置事業、生活排水対策のための浄化槽設置整備事業を行うなど、地球環境にも配慮した事業を展開していきます。

さらに、地域住民が結成した自主防災組織に対し防災用品を交付し、自主防災活動の促進等を図るほか、老朽化した消防屯所の建て替え、消防ポンプ車や可搬ポンプの計画的な更新を行い、安全なまちづくりを進めていきます。

地域自治

各自治センターの運営に要する経費のほか、地域自治活動や地区まち

づくり計画を実践のための財源を交付し、持続可能な地域自治の確立に向けて、地域資源の整備や地域でのものづくりを支援します。

町民・行政

町政や議会活動など様々な情報を提供するために、「広報いしかわ」や「議会だより」を発行するほか、地上デジタル放送難視聴地域対策のために、地上デジタル放送受信施設整備事業を行います。

また、町民サービスの向上や防災拠点機能等の充実を図るため、新庁舎建設に向けて基本計画調査を進めていきます。

平成23年度一般会計当初予算の合計は58億4,321万円となり、前年度より5,149万円、率にして0.9%の減となりました。

また、一般会計と特別会計を合わせた総額は93億7,413万円となり、前年度より2億7,387万円、率にして2.8%の減となりました。



**平成23年度の
主な事業**

「みんなが主役 協働と循環のまち」を将来像とした第5次総合計画の6つの基本目標を踏まえた、平成23年度の主な事業の総額は65億5,749万円となりました。ORAHO(おらほ)のまちづくりプロジェクトに位置付けた地区まちづくり計画実践のための交付金及び、地域づくりの拠点としての各自治センターの運営等の経費として約4,700万円が充てられています。

1 にぎわいと活気のあるまち(産業)
3億8,048万円

- 中山間地域等直接支払事業 ● 地域農産物6次化推進事業
- 畜産振興事業 ● 中小企業対策事業 ● 農地・水・環境保全向上対策事業
- 観光施設管理経費 ● 園芸作物振興事業 ● さくら保全活用事業
- 直売所施設整備推進事業 ● 工業団地造成事業(特別会計)など

2 健やかで人にやさしいまち(保健・福祉・医療)
46億3,752万円

- 障害者自立支援事業 ● 健康増進事業 ● 後期高齢者医療事業
- 救急医療事業 ● 子ども医療費 ● 母子保健事業
- 子ども手当給付事業 ● 国民健康保険事業(特別会計)
- 民間保育所運営費負担事業・介護保険事業(特別会計)など

3 豊かな心と文化を育むまち(教育・文化・スポーツ)
1億4,143万円

- 外国青年招致事業 ● 町史編集事業 ● いしかわ交流・連携事業
- 町史編集事業スポーツ育成事業 ● 小中学校教育振興費
- 英国文化体験事業 ● 芸術文化振興事業など

4 安全・安心で快適なまち(生活・環境)
12億9,565万円

- 路線バス対策経費 ● 消防ポンプ車購入、屯所建設等経費
- 石川地方生活環境施設組合負担金 ● 太陽光発電システム設置事業
- 浄化槽設置整備事業 ● 簡易水道事業(特別会計) ● 道路整備事業
- 宅地販売事業(特別会計) ● 須賀川地方広域消防組合負担金
- 水道事業(水道事業会計)など

5 ともに力を合わせてつくるまち(地域自治)
4,749万円

- 地域づくり推進事業(地区まちづくり交付金)

6 町民の信頼に応えるまち(町民・行政)
5,492万円

- 広報広聴経費 ● 新庁舎建設事業 ● みんなのまちづくり事業
- 地上デジタル放送受信施設整備事業
- 区長等活動経費 ● 戸籍住民基本台帳経費
- 各選挙執行経費(福島県議会議員一般選挙経費ほか)など

<p>公債費</p>  <p>33,839円</p> <p>町の事業に充てた借金を返すお金です。</p>	<p>衛生費</p>  <p>34,873円</p> <p>健康維持や環境対策（ゴミ処理など）に使われます。</p>	<p>総務費</p>  <p>52,659円</p> <p>役場全体の事務、戸籍などに使われます。</p>	<p>民生費</p>  <p>108,124円</p> <p>子どもやお年寄り、体の不自由な方を支援するために使われます。</p>	<p>町民一人に使われるお金</p> <p>333,402円</p> <p>平成23年度の一般会計予算総額58億4,321万円を私たち町民一人当たりになると333,402円になります。このお金を項目別に見ると次のようになります。</p>
<p>商工費ほか</p>  <p>17,038円</p> <p>観光PR、企業立地、中小企業対策などに使われます。</p>	<p>農林水産業費</p>  <p>17,354円</p> <p>農業や畜産業、林業に使われます。</p>	<p>消防費</p>  <p>20,366円</p> <p>広域消防への負担金、消防団の運営に使われます。</p>	<p>土木費</p>  <p>21,117円</p> <p>道路、公園等の維持管理などに使われます。</p>	

区 分		予算額	対前年度比
収益的収支	収入	営業収益	2億4,986万円 0.5
		営業外収益	1万円 0.0
		特別利益	1万円 0.0
		計	2億4,988万円 0.5
資本的収支	支出	営業費用	2億1,784万円 0.6
		営業外費用	670万円 △32.4
		特別損失	50万円 0.0
		予備費	100万円 0.0
計		2億2,604万円 △0.9	
資本的収支	収入	建設負担金	41万円 △43.1
		工事負担金	1万円 0.0
		国庫補助金	2,812万円 150.0
		計	2,854万円 138.2
資本的収支	支出	建設改良費	1億4,328万円 108.7
		企業債償還金	603万円 3.4
		国庫補助金返還金	54万円 0.0
		予備費	100万円 0.0
計		1億5,085万円 98.4	

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1億2,231万円は、当年度損益助成金5,150万円、建設改良積立金6,401万円、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額680万円を補てんするものとします。

水道事業会計予算

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	19億9,640万円	△2.7
後期高齢者医療	1億4,288万円	2.5
介護保険	12億2,933万円	4.1
母畑財産区	66万円	7.6
中谷財産区	54万円	0.2
土地開発事業	572万円	△5.9
簡易水道事業	1億2,482万円	3.7
宅地造成事業	3,057万円	△87.9

特別会計予算

街かど探検隊



「花見ヶ丘をつくる会」が駅周辺の環境整備を地域・町・県がうつくしまの道サポート制度の調印

花見ヶ丘をつくる会(丹内春夫会長)、町、県によるうつくしまの道・サポート制度調印式は2月16日、総合体育館会議室で行われました。

この制度は、地域の方々による道路の清掃や美化活動の実施など、地域と町、県の三者が協働で道路への愛着心を育てながら地域にふさわしい道づくりを進めるもので、今回は、当町地内の国道118号線と主要地方道白河石川線が対象となっています。

同会は当町地内の景観・環境整備を行うことを目的に昨年7月に設立され、石川駅周辺の道路敷の除草やコスモス等の植栽活動を行っています。

郷土の名所をめぐる郷土を知る中谷長寿学級が絵札所めぐり

中谷自治センター長寿学級による第2回石川町郷土かるた絵札所めぐりは2月18日、町内各所で行われました。

この日は、長泉寺西川住職による石川公の講話のほか、歴史民俗資料館で三芦城、石川の祭り行列、天狗様の役割、石川町の鉱物について学んだ後、役場会議室で河野広中についての講義を聴くなど、かるたの絵札となった町内の名所を巡りました。

また、午後からは石川小学校の子ども達とのかるた大会を楽しみました。



氷上でのふれあいを楽しみました第29回石川スケート大会・第42回福島県ST・SS競技会を開催

2月19日、第29回石川スケート大会と第42回福島県ST・SS競技会が石川町スケートセンターで同時開催され、町内外から参加した競技選手や同センターのスケート教室の受講生など65名が、一般の部とスケートの部に参加しました。

また、大会の後半には運動靴競争、氷上網引き、宝拾い競争などの氷上アトラクションが行われ、参加者は滑りやすい運動靴に苦労しながらも氷上でのふれあいを楽しんでいました。





取材します！身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。



各地区の特色ある大鍋を舌鼓 第2回まちづくり交流会を開催

石川町まちづくり交流会は2月20日、中谷自治センターで開催されました。この交流会は、まちづくりの先進地から講師を招いた講演会や町内で実践しているまちづくり活動の事例発表を聴講することでまちづくり活動の情報を共有し、今後の活動に生かしてもらおうと開催しているものです。

研修会では、沢田竹資源開発研究会の増子憲夫会長から「竹資源を生かした地域づくり事業」、久之浜・大久地域づくり協議会の木村芳秀会長から「住む人にやさしい、うらおいと安らぎのまちづくり」について発表されました。

講演会終了後には大鍋大会が行われ、来場された皆さんは地区ごとの特色ある鍋料理に舌鼓を打っていました。

統計調査員6名が 統計功労者表彰を受賞

平成22年度福島県統計功労者表彰を受賞された統計調査員の方々が2月21日に町長室を訪れ、受賞報告を行いました。

この表彰は、各種統計調査の発展のために尽力し、その業績等が特に顕著な調査員を功労者として表彰しているもので、石川町の受賞者は次のとおりです。

- 経済産業大臣表彰▷二瓶忠重さん(中野字竹下)
- 農林水産大臣表彰▷中島辰昭さん(沢井字館)、添田吉金さん(山形字松原)
- 福島県知事表彰▷矢内俊一さん(板橋字茅刈場)、相樂博正さん(曲木字源平)
- 福島県統計協会名誉会長表彰▷藤井義隆さん(母畑字樋田)



瀬谷イコウさんへ 百歳賀寿贈呈

瀬谷イコウさん(中田字浮内)への百歳賀寿贈呈式は2月25日、自宅で行われました。

式では、村田幸太郎県中保健福祉事務所健康保険福祉部長、加納武夫町長、鈴木蒔中田長寿会長から賀寿と記念品が贈呈されたあと、長男の和男さんから「皆さんからお祝いしていただきありがとうございます」と謝辞が述べられました。

瀬谷さんの長寿の秘訣は、「好き嫌い無く何でも食べること」だそうです。



つつじを植栽して町の魅力を高めてほしい 仲田種苗園が600株のつつじを町に寄贈

仲田種苗園(仲田茂司社長)からのつつじの寄贈が、3月4日に沢田地内の同園圃場で行われました。

今回の寄贈は、町の魅力向上に役立てて欲しいと行われたもので、琉球つつじと霧島つつじ合計600株(180万円相当)が贈られました。贈呈式は、同社の従業員が同席して行われ、仲田社長から「各地区で花を植栽して町の魅力を高めてほしい」と挨拶したあと、加納町長に目録とつつじが贈呈されました。

このつつじは、各地区で花木を植栽している12団体に配られることになり、この日は各団体を代表して花見ヶ丘をつくる会の丹内春夫会長につつじが手渡されました。



中村孝太郎さんが副議長に就任

石川町議会3月定例会において、これまで欠員となっていた石川町議会副議長に中村孝太郎さんが選出されました。中村さんは平成7年に議員に初当選し、現在3期目です。

中村さんの副議長の任期は、平成23年9月14日までです。

また、文教厚生常任委員長であった中村さんの委員長辞任により、文教厚生常任委員長に副委員長の瀬谷京子さんが就任し、副委員長には委員の永沼一夫さんが就任しました。



町内の小中学校と高校で卒業式 石川義塾中学校の第1期生が卒業

3月、町内の小中学校と高校で卒業式が行われました。

高校の卒業式は3月1日に行われ、県立石川高校では133名、学法石川高校では249名が卒業し、学法石川高校の卒業式と一緒に行われた石川義塾中学校卒業式では、第1期生26名が卒業しました。

また、3月11日に行われた中学校の卒業式では、石川中学校から147名、沢田中学校から23名が学び舎を旅立ちました。震災の影響により3月31日に日程が変更になった町内8小学校の卒業式では、あわせて168名の子ども達が卒業しました。

それぞれに、下級生、先生、保護者の皆さんに見送られ、次の目標に向かって慣れ親しんだ校舎を巣立っていきました。



▲石川義塾中第1期生に卒業証書を授与



▲校長先生からはなむけの言葉が送られました(石川中)



▲花束を贈り両親に感謝(沢田中)

郡山から15組の親子が参加 桜で草木染め&和菓子づくり体験 in 石川町

NPO法人まざっせKORIYAMAが主催した「ほんのりさくら色 桜で草木染め&和菓子づくり体験 in 石川町」は3月5日、中谷自治センターなどで行われました。

この催しは、体験型イベントや町内散策を通して、石川町の良さを知ってもらおうと同法人が企画したもので、郡山市から親子15組が参加しました。

参加者は、中溝玲子さん(中田字狸久保)による草木染め体験でハンカチづくり、石川そば同好会(近内康会長)によるそば切り体験、お菓子のくわざわの桑沢和典さん(双里字神主)による和菓子作りに参加したあとクリスタルロードなどを散策し





取材します！身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。



諸岡 節男さん
(字下泉198-1)
☎26-1460



竹島 君さん
(字高田117)
☎26-0602

行政相談委員に諸岡節男さん、竹島君さんが委嘱されました

4月1日付けで行政相談委員に、諸岡節男さん(下泉)、竹島君さん(高田)が再任されました。

行政相談委員は総務大臣から委嘱されるもので、国の仕事を始めNTTなどの特殊法人等の仕事についての苦情や意見・要望を受け付け、皆さんと関係行政機関等との間に立って、その解決を促すよう相談に応じています。毎月1回土曜日に、石川町公民館で定例行政相談を行っています。行政機関等にご意見・ご要望等があればお気軽にご利用ください。相談は無料で秘密は厳守されます。

熊懐龍さん、酒井萌さん、三森弘子養護教諭が受賞 石川中学校で各種表彰受賞を町長に報告

各種表彰を受賞した3名が3月9日、受賞報告に町長室に訪れました。

熊懐龍さん(2年)は、土砂災害防止に関する絵画・作文に「被災者を救助するレスキュー隊」を出品し、優秀賞(国土交通省事務次官賞)を受賞しました。

酒井萌さん(3年)は、全国中学生創造ものづくり教育フェアにフェルトで作った子どものおもちゃを出品し優秀賞を受賞しました。

三森弘子養護教諭は、生徒の心のケアに教職員の中心となって取り組み不登校児童数を激減された実績が認められ、県教育委員会から優秀教職員として表彰されました。



新年度になって笑顔でスタート 町立小中学校で入学式

町立小中学校の入学式は4月6日に各校で行われ、8小学校に137名、2中学校に163名が入学しました。

震災の影響で3月16日から学校が休校となり、23日からの春休みが明けたこの日、校舎には久しぶりに元気な子ども達の声が戻りました。

また、浜通りから石川町内に避難してきた児童生徒44名が町内の小中学校に転入し、仲よく机を並べて勉強しています。

(写真は母畑小学校入学式の様子)



クローバー保育園が開所 石川文化幼稚園・クローバー保育園入園式

石川文化幼稚園・クローバー保育園の入園式は4月9日、同園お遊戯室で行われました。

クローバー保育園は、町が保育業務を委託し今年4月に開園した認可保育園です。定員は60名で生後6か月の乳幼児から入園できます。

今年度は幼稚園児75名と保育園児22名の97名の子ども達が、クローバー保育園の新園舎とともに、元気に園生活をスタートしました。



HAPPY SMILE

ハッピー スマイル



高原 志季ちゃん (1歳7か月)



鈴木 雄斗哉くん (1歳7か月)
鈴木 幸奈ちゃん (4歳)

「いちご大好き志季ちゃん。」

ごはんもいっぱい食べて大きくなろうね!!
父ちゃん、母ちゃんより 塩沢字佐武内

「鈴木家の天使達です。とっても仲良し姉弟です♡」
陽介パパ、博美ママより 字古館

- 「ハッピースマイル」では参加してくれるお子さん(3歳以下)を募集しています。気軽にお問い合わせください。石川町役場総務課 26-2111
- ハッピースマイルは電子メールでも受付しています。必要事項を記入し写真画像を添えお送りください。koho_k@town.ishikawa.fukushima.jp



Q & A

青春
と真ん中



角田 未貴さん(21歳) ●谷沢字坂ノ下

職業▶介護福祉士をしています。

Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

A スノーボードとソフトテニスです。

Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください

A およめさんになることっ!!!

Q 将来どんな町になって欲しいですか

A 高齢者に優しく住みやすい町になって欲しいです。

Q 最後に理想のタイプは

A 頼りがいのある優しい人です♡



▶次回は、角田さんの紹介で有松修平さんです。

地域のネットワークで

みんなが安心！元氣！！

みんなの話・和・輪

「どんな時も地域みんなで声かけあい、支えあえる石川町に」

～災害時の備えにも・地域福祉ネットワーク～

平成17年度から地区毎に活動を始めた「石川町地域福祉ネットワーク」は、隣近所が日頃から気にかけてあい・声かけあい、地域のつながりを強めることで、困っている人を見落とさない・災害時への備えもできる・誰もが安心して暮らせる町づくりを目指してきました。

今回の災害では、民生児童委員を始めとする各機関が連携しながら、独居高齢者や障がい者、要介護者等の安否確認を行いました。そして、近所の方々の支えあいが大きな力を発揮しました。

「心強かった！助かったよ！」

～近所の方が駆けつけてくれる～

これまでに類のない大地震に、独居の高齢者や障がい者は身動きもできず、大きな不安に襲われました。こんな中、ご近所の方の支えにより、安心を得られた方は少なくありません。

独居で体が不自由な80代半ばの方の所には、地震発生後すぐに近所の方数名が駆けつけました。家屋の一部が壊れ一時的に施設に避難することになりましたが、施設からの迎えが来るまで準備を

手伝い送り出してくれました。ご本人は、日頃から「ご近所の方に「何かあったらお世話になるね」とお願いしていたそうです。

60代の障がい者の方の家にも、近所の方が駆けつけて、手早く安全な場所に連れ出してくれたと聞きました。

夕方に連絡がついた80代後半の独居の方は、隣のお嫁さんに「今夜はうちに泊まりに来たら」と声をかけてもらったそうです。

町中のあちこちで「大丈夫かい」という声飛び交い、ご近所同士で無事を確認しあい、支えあう姿が見られました。



～介護サービスのストップ～

今回の地震は町内の介護サービスにも大きな影響を与え、デイサービスやヘルパー訪問等の中断も余儀なくされました。それでも、訪問の時間や経路を工夫しながら、可能な限りサービスを続けたいヘルパー事業所もありました。また、在宅の重症患者さんへの支援は、何としても中断させるわけにはいかないと、ずっと動き続けた訪問看護事業所もあります。担当ケアマネージャーがサービス中断の期間、何度も連絡をしてくれたり…利用者さんやその家族からは「本当に心強かった」との声が聞かれました。

～いざという時の避難のために 確認を～

町では、平成22年3月に「災害時要援助者の避難支援プラン」を策定し、行政区組織や民生児童委員の協力を得て、現在約200名の避難支援プラン（個別計画）を作成しています。対象になっている方は、独居高齢者、高齢世帯、障がい者等、災害時に自力で避難することが困難で、地域の支援を希望する方です。このプランには、本人の状態、避難時の支援者、避難場所等が明記されています。本人の立場では、先に紹介した方のように、万が一に備えて自分を支援してくれる人を決め意思表示しておくことや、日頃から近所とのつながりを持つことが大事です。また、地域の中では、自分の地区の何処に、どんな支援を必要とする人がいるのかを知っていること、日常生活の中での見守りや確認し合う関係づくりが必要です。

今回の震災をふまえて、改めて「いざという時のために」を考え確認していきましょう。

避難支援プランについての問い合わせは左記まで。
保健福祉課 社会福祉係 ☎26-9123

今後も、町民・関係機関みんなで『誰もが安心して暮らし続けられる石川町』をめざし、地域福祉ネットワーク活動を推進していきましょう。



●相談・連絡先 地域包括支援センター ☎26-4606

◆地域福祉ネットワーク標語

「地域みんなで、気にかけてあい・見守りあい・声かけあって、誰もが安心して暮らせる地域づくりを」



募集

石川町農業委員会 臨時職員を募集します

- 職種 一般事務補助
- 職務内容 農地基本台帳整備
事務内容：専用ソフトを利用したパソコンによるデータ入力（エクスセルの基本操作が可能な方）、書類整理等の事務の補助業務全般
- 雇用期間 平成23年6月1日
～平成23年11月30日
- 賃金 日額 6,000円
（通勤距離に応じて通勤手当が加算支給されます）
- 勤務日
原則として月曜日から金曜日
まで（祝祭日は除く）
- 勤務時間 午前8時30分～
午後5時15分まで
- 申込受付期間
市販の履歴書（写真添付）に
必要事項を記入し、石川町農業
委員会事務局へ5月20日（金）まで

にお申し込みください。

● 採用方法 書類選考及び面接
のうえ決定します。

● お問い合わせ先
石川町農業委員会

☎26-9129

平成23年度国家公務員 採用Ⅲ種（税務）試験 （高校卒業程度）のお知らせ

仙台国税局では、バイタリ
ティーあふれる税務職員を募集
しています。

● 受験資格
平成24年4月2日から
平成6年4月1日生まれの方

● 受験申込受付期間
6月21日（火）～6月28日（火）

● 受験申込書の請求
最寄りの税務署 仙台国税局人
事第一課又は人事院東北事務局

● お問い合わせ先
人事院東北事務局
☎022-1221-2022

● お問い合わせ先
仙台国税局人事第一課
☎022-1263-1111



暮らしの家

合併処理浄化槽を 設置しましょう

川や湖などの汚れの主な原因は、
生活排水（風呂、台所、洗濯等）
です。

町では、生活排水による水質の
汚濁を防ぐため、生活排水のすべ
てを処理できる合併処理浄化槽を
設置する場合に、予算の範囲内で
補助金を交付しています。

● 補助対象浄化槽
50人槽以下で、設置工事を平成
24年3月31日までに必ず完了でき
る浄化槽。

● 次に該当する場合は補助金の交
付対象となりませんので注意して
ください。

①補助金交付申請書の提出前に、
既に設置工事が完了している場
合。

②建築基準法、浄化槽法に基づく
設置の届出を行わずに浄化槽を
設置する場合。

③無登録又は無届出の浄化槽工事
業者の設置工事により浄化槽を
設置する場合。

④販売目的で浄化槽付きの住宅を
建築する場合（建売住宅等）。

⑤浄化槽を継続的に使用しない場
合（別荘等）。

◎町税を滞納している方。

● 申請方法

浄化槽を設置される方は、浄化
槽設置届出書を提出しなければな
りません（新築住宅等の場合は建
築確認申請書に含まれます）。

この届出が受理された後、町が
定めた補助金交付申請用紙に必要
事項を記入のうえ、都市建設課に
提出してください。

なお、補助金の申請にあたって
は、設置の段階になって補助金の
交付条件に当てはまらないことが
ないように、事前に都市建設課で
交付の条件等を確認してください。

※国及び県から町に対する補助金
の円示がされてから受付を行
います。

● 補助金額（設置する条件により
異なります）

● 単独浄化槽や汲取り便槽から合
併浄化槽に転換する専用住宅
5人槽 332,000円
31人～50人槽
2,037,000円

● 単独浄化槽や汲取り便槽から合
併浄化槽に転換する併用住宅
5人槽 332,000円
31人～50人槽
1,291,000円

● その他の場合
（住宅等の新築、非住宅の転換を
含む）
5人槽 168,000円

31～50人槽

1,018,000円

※なお、単独浄化槽や汲取り便槽
の撤去に伴う補助制度もありが
ますので、都市建設課までお問い
合わせください。

● 申請締め切り 12月28日（水）まで
※年間の補助基数には限りがある
ため、申し込み順で受付を締め
切る場合がありますので、事前
に確認をお願いします。

● 注意事項

● 人槽の大きな浄化槽（アパート、
店舗等）を設置予定の方は、補
助金を交付できない場合もあり
ますので、事前に確認をお願い
します。

● 補助金の予約等は受付けません。
● 申請には承諾書、誓約書等を提
出したください。後
のトラブルを避けるためにも、
申請の手続きを工事業者まかせ
にすることなく、申請者本人が
必ず申請内容を確認してください。

● 浄化槽の設置後は、保守点検や
清掃（汚泥のくみ取り等）のほ
か、浄化槽法に基づく法定検査
（有料）を受検しなければなり
ません。この検査は県知事の指
定検査機関である社団法人福島
県浄化槽協会が実施します。法
定検査には次の2つがあります。

● 浄化槽法第7条検査：浄化槽を
設置後3か月を経過してから5か

● 浄化槽法第7条検査：浄化槽を
設置後3か月を経過してから5か



月以内に受検

浄化槽法第11条検査：年1回の定期検査です。毎年受検しなければなりません。(第7条検査を受検した次の年度から11条検査の対象となります。)

●お問い合わせ先
都市建設課 都市整備係

☎26-19131



高齢者肺炎球菌予防接種助成のおしらせ

石川町では、平成23年度も肺炎球菌ワクチンの予防接種費用の一部を助成します。

肺炎球菌ワクチンとは、高齢の方の肺炎球菌による肺炎感染を予防するためのものです。(ただし、肺炎にかかる原因はいろいろあるので、すべての肺炎を防ぐものではありません)

●対象者

●70歳以上で、町内に住所を有する方(過去に接種した方は対象になりません)
●65歳以上70歳未満で、次の疾患がある方

①呼吸器・腎臓・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する方

②悪性新生物の治療歴のある方又

は治療中の方

③糖尿病による薬物治療中の方

●申込期間および接種期間
平成23年5月2日(月)

～平成24年3月31日(土)

●申込場所：保健センター

●肺炎球菌予防接種通知書・予診票の配布をしますので、本人もしくはご家族の方が、印鑑を持参のうえ直接保健センターにお越しください。

実施場所 (委託契約機関)

●石川郡内の医療機関

(石川郡医師会)のみ

●※郡外の医療機関での接種は公費負担の対象となりませんのでご注意ください。

接種料金

●一人一回あたり8,000円で、半額の4,000円を町で補助します。

●※接種前にかかる診察及び接種ができなかった場合の費用については全額自己負担となります。

その他

●医療機関への接種の予約等については、個人で行ってください。

●ご不明な点がありましたら保健センターまでお問い合わせください。

●お問い合わせ先
保健センター

☎26-18416

麻しん・風しん (MR) 予防接種をうけましょう！

麻しんは春が流行シーズンです。

はしか(麻しん)は、ウイルスに感染した後、約10～12日間を経て、熱・せき・鼻水などの症状が出はじめます。数日すると、首すじ・顔から赤い発しん(ぶつぶつ)が出はじめ、熱も高熱となり発しんは全身に広がります。38～39℃台の熱は1週間から10日程度続くことがあります。とてもうつりやすく、免疫がないと大人もかかります。

風しんも、発熱と全身に淡い発しんがでる感染症です。症状は、はしか(麻しん)より軽いですが、妊婦さんが妊娠初期にかかると、おなかの中の赤ちゃんが感染し、心臓の病気になったり、目や耳に障害を生じたりすることがあります。

麻しん(はしか)・風しんの定期予防接種について、今年度対象となっている方は次のとおりです。

※麻しん(はしか)・風しんを2回接種することで、1回の接種で免疫を獲得できなかった方に免疫を与えたり、1回接種したにもかかわらず免疫の力が弱まった方に刺激を与え免疫を強固なものにします。

●対象者

第2期 小学校入学前の年長児
(平成17年4月2日～平成18年4月1日までに生まれた方)

第3期 中学1年生相当の年齢の方
(平成10年4月2日～平成11年4月1日までに生まれた方)

第4期 高校3年生相当の年齢の者
(平成5年4月2日～平成6年4月1日までに生まれた方)

●実施場所 石川郡内の医療機関及び広域予防接種委託医療機関

●持参する物 予診票、実施通知書、母子健康手帳

●料 金 無料

●接種期間 平成24年3月31日まで

●医療機関への接種の予約等については、個人で行ってください。

●その他、ご不明な点は保健センターまでお問い合わせください。

●お問い合わせ先 保健センター ☎26-8416

※今年は、集団接種が中止となったので、個別接種で早めに受けましょう！



予防接種（ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン）費用の一部を助成します

石川町では平成23年6月1日から乳幼児の細菌性髄膜炎予防ワクチンであるヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんの予防ワクチンの接種費用の助成を開始します。

今回のワクチン接種は保護者の意思で受ける任意接種です。接種前に医師に説明を受け、ワクチンの効果や副反応等を良く理解した上で接種を受けて下さい。

●対象

- ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン
石川町に住所を有し、かつ住民票のある生後2カ月～5歳未満の者（※5歳の誕生日の前々日まで）
- 子宮頸がん予防ワクチン
石川町に住所を有し、かつ住民票のある中学1年生～3年生（※平成8年4月2日～平成11年4月1日にまでに生まれた者）



- 助成額

ヒブワクチン	接種1回あたり	8,000円
小児用肺炎球菌ワクチン	接種1回あたり	10,000円
子宮頸がん予防ワクチン	接種1回あたり	15,000円

●助成期間 平成23年6月1日(水)～平成24年3月31日(土)

●接種の受け方

- ①予防接種依頼書を発行しますので、保健センターに、印鑑を持参の上、接種前に申請して下さい。
- ②医療機関に予約をし、依頼書、予診票、母子健康手帳を持参の上、接種を受けて下さい。
- ③町への申請をせずに接種した場合は全額自己負担となることもあります。また、郡外の医療機関で接種を希望される場合には、事前にご相談ください。

指定医療機関名	所在地	電話番号
石川中央医院	石川町字新町55	26-2024
大野診療所	石川町字下泉171	26-2615
中島医院	石川町字新町46-1	26-3415
田中内科医院	石川町字立ヶ岡50	26-3333
やまもと内科クリニック	石川町大字双里字白坂下75-3	26-8311
味原医院	玉川村大字川辺字和尚平279	57-2054
あつみ内科医院	玉川村大字小高字中畷18-1	37-1544
角田医院	浅川町大字東大畑字新町10-1	36-2067
ふどどのクリニック	古殿町大字松川字林14-1	32-1114
*とりごえ整形外科クリニック	石川町大字形見字尾巻184-1	26-5050
*ひらた中央クリニック	平田村大字上蓬田字大隅30	25-1414

*の医療機関は子宮頸がん予防ワクチンのみ接種できます

●予防接種による健康被害の救済について

ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンは任意接種です。この予防接種による健康被害が生じた際は、『独立行政法人医薬品医療機器総合機構法』の補償制度及び石川町予防接種事故災害補償規定等の対象になる場合があります。その他、不明な点についてはお問い合わせください。

●お問い合わせ先 保健センター ☎26-8416



☎26-19119

●お問い合わせ先
税務課資産税係

●縦覧の場所 石川町役場税務課
(土・日・祝日を除きます)
午前8時30分～午後5時

●縦覧の期間
5月25日(水)まで

●縦覧制度とは
納税者が他の土地や家屋の価格との比較を通じ、自己の土地や家屋の評価が適正かどうか判断できるようにするための制度です。

●縦覧制度とは

納税者が他の土地や家屋の価格との比較を通じ、自己の土地や家屋の評価が適正かどうか判断できるようにするための制度です。ただし、借地人や借家人などは委任状がなくても縦覧できます。

固定資産(土地及び家屋)
価格等帳簿の縦覧について



相談



被災住宅無料相談会 を開催します

東北地方太平洋沖地震により被害を受けた住宅の居住者・所有者を対象に(社)福島県建築士会および(社)福島県建築工事事務所協会の会員による被災住宅の安全性や補強・改修方法等の相談会を開催します。相談を希望される方は町都市建設課までご予約をお願いします。

開催日時

5月15日(日)

午後1時～午後5時

会場

役場分庁舎2階会議室

内容

- ①被災住宅の安全性確保等に関する相談
- ②被災住宅の補強・修繕方法等に関する相談
- ③その他住宅再建等に係る情報提供

相談例

- ・住宅が傾いているようだが倒れる心配はないか？
- ・壁にひび割れができたがどうしたらいいか？
- ・修繕するためにはどれくらいの費用がかかりそうか？
- ・予約・お問い合わせ先

都市建設課

☎26-19131

特設人権相談所を 開設します

6月1日は、「人権擁護委員の日」です

石川町の人権擁護委員が、特設相談所を開設しますので、困りごとや悩みごとなどお気軽にご相談ください。

また、人権擁護委員は、特設相談所開設期間以外でも、皆さんの人権擁護のために活動しています。人権侵害などの人権問題で悩んだ場合は、各地区の人権擁護委員または、法務局にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

日時

6月1日(水)

午後1時30分～4時

場所 石川町公民館(高田)

地区の担当委員

石川地区：丹内 春夫

☎26-15512

沢田地区：郷 信子

☎26-10652

山橋地区：須藤 洋子

☎26-13658

中合地区：阿部 文字

☎26-15889

母畑地区：大串 秋夫

☎26-16511

野木沢地区：鈴木 紘一

☎26-14044

お問い合わせ先

町民生活課町民係

☎26-19120

定例行政相談

町行政相談委員による定例相談を次により行います。

日時 5月28日(土)

午前9時～正午

場所 石川町公民館

心配ごと相談

日時

5月25日(水)

6月10日(金)

時間はいずれも

午前10時～午後3時

場所

老人福祉センター

お問い合わせ先

町社会福祉協議会

☎26-13793



震災により避難されている方へ雇用促進住宅を一時提供します ～町外に避難されている方も対象とします～

震災により町内に避難されている方を対象に雇用促進住宅の一時提供を行ってきましたが、対象を拡大し町外に避難されている方へも一時提供を開始します。



- 入居対象者について
 - ・東日本大震災で住宅の倒壊等により居住出来なくなった方。
 - ・福島第一原子力発電所の事故によって避難されている方。
- 提供期間について
 - ・原則として平成23年9月末までです。ただし、被災者が希望すれば6か月単位で最長2年まで更新が可能です。
- 使用料金等について
 - ・家賃及び敷金は無料です。
 - ・入居時の清掃は入居者が実施してください。
 - ・退去に伴う補修費は免除となりますが、著しい破損があった場合は修復に要する費用を負担していただきます。
 - ・電気、ガス、水道料金及び共益金、駐車料金は自己負担です。
 - ・ゴミは、石川町の分別方法に従って指定されたゴミステーションに搬出してください。
- お申し込み方法

借受申請書は、役場窓口へ備え付けてあります。

申請書受付は、産業振興課商工観光係(☎26-9113)で行います。



平成23年度石川町公民館・歴史民俗資料館事業

石川町公民館及び歴史民俗資料館では、次の事業を計画しています。町民の皆様多数ご参加ください。
なお、参加者の募集については、随時広報いしかわの「公民館だより」でお知らせします。

事業名	主な内容	実施時期	対象者
絵本等読み聞かせ事業	図書室を活用した本の読み聞かせ	随時	幼児・児童
子ども体験学習 「ぼくもわたしもチャレンジャー」	森の探検隊(巨木調査)、鉱物採取体験、歴史探訪(史跡巡り)等	6～12月	小学生
第27回少年の主張大会	小学生・中学生・高校生による意見発表	6月	小・中・高校生
おじいちゃん・おばあちゃんへの手紙コンクール	命を伝えてくれた祖父母への感謝の気持ちと自分の成長を伝えるために手紙を送る。	6～7月	小・中・高校生
パソコン教室(初級編・中級編)	ワード、エクセルの技能習得	6・11月	成人
生き生きライフ講座	こころの健康、栄養と健康、有酸素運動、色彩と生活、音楽とこころ等	6～2月	成人
子育てセミナー	家庭及び地域の教育力向上を図るため、講演会等を行う。	11月	成人
子育て出前講座	各小・中学校の家庭教育学級に出向き、子育てについて講習する。	6～2月	成人
子育てサポーター養成研修会	子育て支援に関する人材養成のための講話、保育実習。	6～12月	中・高生、一般
総合文化祭	芸術文化活動の総合発表、芸能祭、音楽祭	10～11月	一般町民
鉱物教室	歴史民俗資料館内の標本や町内の鉱山跡を見学、鉱物の学習。	6～3月	成人

子ども体験学習

「ぼくもわたしもチャレンジャー」教室生募集

わくわく、どきどきの体験活動を企画していますので、思いっきりチャレンジしてみましよう。

◇実施日 6月～12月

月一回土曜日午前(全7回)

◇対象 町内小学校の3～6年生

◇募集人員 20名

◇学習内容 森の探検隊(巨木調査)、餃子づくりに挑戦、鉱物採取体験、歴史探訪(史跡巡り)、百名山登山に挑戦、正月のしめ縄づくりに挑戦など

◇参加費 事業内容により材料費等を負担していただくことがあります。

生き生きライフ

講座受講生募集

毎日楽しく生活するためには何といても健康が第一、心と体の健康づくりについて楽しく学んでいきましょう。心も体もリフレッシュして、明日への活力を身につけてください。

◇実施日 平成23年6月～平成24年2月 月一回平日夜間(全9回)

◇対象 町内在住の一般成人

◇募集人員 20名

◇事業内容 「心と体の健康づくり」をテーマに、専門家の話を聞いた後、夏・冬野菜を使った料理体験や運動療法の体験をします。(こころの健康、栄養と健康、有酸素

す。

◇その他 申込者多数の場合は、上位学生を優先させていただきます。



運動、色彩と生活、音楽とこころ等

◇参加費 事業内容により材料費等を負担していただくことがあります。



パソコン教室受講生募集 ～初級者(Word・Excel)講座～

まだパソコンの操作に不安のある方、これからパソコンを始めようとする方を対象に、パソコン教室を開催します。短期間で分かりやすく、文書の作成・編集や表の作成・計算の基礎が学べます。ぜひご参加ください。

◇期日
①Word
6月13日(月)～17日(金)の5日間

②Excel
6月20日(月)～24日(金)の5日間

◇受講時間 午後7時～午後9時

◇対象 町内在住の一般成人

自己所有のパソコンを持参(ソフトウエア:Word2007、Excel2007)

※パソコンを持参できない方は、レ

ンタルの相談を受付けます。

◇会場 勤労青少年ホーム(保健センター隣) 1階講習室

◇募集人員 20名(定員になり次第締切)

◇参加費 受講料3,000円
テキスト代2,100円

※パソコンをレンタルする場合、別途レンタル料金がかかります。

◇その他 申込者多数の場合は、受講経験のない方を優先させていただきます。

鉱物教室受講生募集

日本三大pegmatite鉱物産地として知られる石川町の貴重な財産の一つである鉱物に関する知識、理解を高め、今後の鉱物を生かしたまちづくりについて考えることを目的として行います。

◇事業内容 歴史民俗資料館にある標本等を利用して学習する。和久観音山鉱山跡を見学、現地学習を行う。

◇参加費 無料



◇実施日 平成23年6月～平成24年3月 月1回(日曜日午後)全10回
◇対象 町内在住の一般成人
◇募集人員 10名



＊募集している講座等の申込方法＊

上記の講座等の申込方法は次のとおりです。

- ◆申込期間 5月9日(月)～20日(金)までの間
- ※受付時間 午前8時30分～午後5時
- ◆申込方法 ①直接石川町公民館へ来館
②FAX(送信後は公民館に確認の電話をしてください。)
- ※FAXの場合、氏名、住所、連絡先(子ども体験学習に

ついてはその他学校名、学年・クラス、保護者氏名)を記入してください。

- ◆その他 活き生きライフ講座及び鉱物教室について、申込者多数の場合は、募集人員に達した段階で募集を終了させていただきます。

※個人情報、講座等の連絡以外には使用いたしません。

☎26-2566 FAX26-4992

歴史民俗資料館よりお知らせ

石川町産出鉱物、岩石の標本所有者を調査しています。

皆さんのお宅に鉱物はありませんか。歴史民俗資料館では、石川町産出鉱物、岩石の標本の貴重なもの、珍しいものについて所有されている方から借用し、展示と写真撮影をさせていただきますと思います。石川町産出鉱物、岩石の標本を持っていらっしゃる方、歴史民俗資料館へお知らせください。

●お問い合わせ先
歴史民俗資料館

☎26-3768

歴史民俗資料館蔵

『水晶展』開催のお知らせ

日本三大pegmatite鉱物産地のひとつである石川町の産出鉱物の代表は水晶です。
歴史民俗資料館(字高田)では、収蔵している鉱物標本のうち水晶の数を次に展示しています。

今回は、資料館にある日本

国内外の水晶の標本を展示しているほか、石川町に存在するレアアースも展示しています。素晴らしい標本の数々は非この機会にご覧ください。

◇期間 11月27日(日)まで
月曜日・祝日休館



- ◇時間 午前9時～午後4時
- ◇会場 歴史民俗資料館3階 企画展示室(観覧料無料)
- ◇お問い合わせ先
歴史民俗資料館

☎26-3768





国保だより

★保険証は大切に★

国民健康保険証は大切に保管しましょう!!

保険証は身分証明に使用されることも多く、知らないうちに悪用される可能性があります。大切に保管し、紛失しないように心がけてください。

なお、国民健康保険証を紛失されたり、汚れたりして使用できなくなったときには、申請により再交付を受けることができます。

申請に必要なもの

- 身分を証明するもの（運転免許証など）
（申請に来る人が本人・住民票上同一世帯の人以外の場合は、身分を証明するものと委任状が必要です。）
- * 使用できなくなった保険証（紛失の場合は不要）
- * 印鑑
- ※ 紛失された保険証を発見されたときは、再交付されたものではなく、古いほうの保険証を返還してください。
- ※ 保険証を紛失された場合は、警察に届け出をしてください。



◆お問い合わせ先……町民生活課 国保年金係 ☎ 26-9125

震災時の心のケア

災害に巻き込まれると、これまでに感じたことのない気持ちの変化や身体の不調が起こることがあります。

命の危険や強い恐怖感など人間の想像を超えるような体験がきっかけとなって、眠れなくなったり、精神的に不安定になったり、フラッシュバックなどの精神障害がでるような症状をPTSD（心的外傷後ストレス障害）といいます。

それは多くの人が普通に体験するもので、決して特別なものではありません。

このようなことはありませんか？

- 頭痛、めまい、吐き気、下痢、胃痛、どろき、しびれがとまらない。
- 気持ちが高ぶって寝つきが悪い。途中で目が覚める。
- 食欲が落ちる。疲れやすい。体がだるい。
- 災害時の体験に関連した夢を見る。体験した光景が突然繰り返しよみがえる
- 以前と比べて活力や集中力が低下している。
- 物音などちょっとした刺激にもびっくりしてしまう。



- イライラして、怒りっぽくなる。涙が止まらない。

多くの場合は自然に回復していきますが、回復までに長い時間がかかることがあります。

こころの健康を保つために

- 人と人のつながりを大事にしましょう。ご家族同士、ご近所同士で声をかけあいましょう。
- 回復の早さは人それぞれ違います。あせらなくて自分のペースを大切にしましょう。
- 食事や睡眠など日常生活のリズムをなるべく崩さないようにしましょう。
- ちょっと一休み、全力で頑張り過ぎないで、定期的に休みを取りましょう。

気になることがあったら遠慮しないで相談してください。

相談先

石川町保健センター ☎ 26-8416
 県中保健福祉事務所 ☎ 0248-75-7811



小さな美術館

第289回
石川文化
幼稚園

【施設紹介】

今年度より石川文化幼稚園にクローバー保育園ができ、0歳から就学前までの子ども達の保育と教育を行うことが出来るようになりました。園庭では子ども達の元気な声が響き、子ども達は自分の思いを伝え、相手の気持ちを受け入れながら体を動かし、頭を使い、友達と一緒にたくましく育っています。

ひばり組のみなさん



「一緒にたくさん遊ぼうね！」

4月から新しいお友達が石川文化幼稚園とクローバー保育園に仲間入りしました。新しいお友達が来るのをずっと楽しみにしていたひばり組さん。「何をして遊ぼうかな?」「早く一緒に遊びたいな」とワクワクしながら絵を書きました。これからたくさん遊びましょうね!!

編集後記

東日本大震災で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。私は、地震を郡山の出張先で地震にあいました。今までに経験したことのない大きな揺れは今も鮮明に覚えています。地震、原発事故、風評被害といくつもの困難が福島県に与えられてしまいましたが、私たちに来ることは諦めないこと。一步一步復興に向かって少しずつでも歩み続けることのような気がします。みんなの力が一つになれば必ず道は開けると信じています。がんばろう東北!がんばろう福島!!がんばろう石川!!!(矢内 清春)

町民憲章

- 1.自然と文化を愛し
豊かな町をつくりましょう
- 1.親切と勤労をむねとし
住みよい町をつくりましょう
- 1.歴史と未来をみつめ
誇りある町をつくりましょう

みんなで防犯 子ども防犯呼びかけ隊

●今月の隊長 (広報無線の声)
おぎの あみ
野木沢小学校 6年 荻野 亜美さん



- Q. 毎日の通学などで防犯に気をつけていることは?
- A. 絶対一人では帰らず友達やきょうだいと帰るようにしています。
- Q. 将来の夢を聞かせてください。
- A. 私の将来の夢はケーキ屋さんになることです。理由は、小さい頃誰かの誕生日の時に私がケーキを作ったらみんなが喜んでくれたからです

表紙の写真

沢田児童館に通う遠藤 祐輝(ゆうき)くん、祖父の之一さん、祖母のふき子さんです。



町の人口

●4月1日現在住民基本台帳●

	17,429人 (△73)
男	8,514人 (△38)
女	8,915人 (△35)
世帯数	5,702戸 (△6)

() 内前月比